

# 魚を科学する

## 水産研究発表会の御案内

静岡県水産技術研究所では、駿河湾など豊かな自然のもとに営まれている本県の漁業、養殖業、水産加工業等を振興するため、県内各地域の水産技術研究所及び分場において、様々な試験研究を行っています。

この研究成果の一部について、一般の方々にもわかりやすく紹介しますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

と き 平成 21 年 11 月 27 日 (金) 13 時～16 時 (開場 12 時 30 分)

と ころ 静岡県水産技術研究所 3 階大会議室 (焼津市小川 3690)

発 表 内 容

- ① 美白マグロを食卓へ(脱血処理)!
- ② アサリやカキの小さな大敵  
～増えると怖いプランクトン～
- ③ ガラモ場を回復する方法
- ④ 駿河湾深層水の恵み  
～美白効果を持つプランクトン～
- ⑤ 白銀に輝くニジマス  
～ニジマスの品種改良はここまで来た!～
- ⑥ シラスはどれだけ獲れるかな?  
～シラスの漁獲量を予測する～

参 加 費 無料

申込み/問い合わせ

①住所、②氏名、③電話番号、④職業を  
FAX、ハガキ又はインターネットメールで  
下記まで御連絡ください。

(先着 100 名まで)

静岡県水産技術研究所 焼津市小川 3690 〒425-0033

TEL : 054-627-1818

FAX : 054-627-3084

メ-ル : suishi@shizuokanet.ne.jp

主催 静岡県水産技術研究所

## 発表内容の概要

### ① 美白マグロを食卓へ（脱血処理）！ （開発研究室 羽田好孝）

船上で急速凍結されるビンナガ（マグロ）の品質をより高めるため、漁獲した直後に船上で生き締め（脱血処理）してから急速凍結したビンナガが生産され始めています。鮮度や色などの品質分析や官能評価の結果について紹介します。

### ② アサリやカキの小さな大敵 ～増えると怖いプランクトン～ （浜名湖分場 今中園実）

プランクトンの一種・ヘテロカプサは、貝類に強い毒性があり、増えるとアサリやカキなどに大きな被害をもたらすため、浜名湖では問題となっています。湖内での出現状況や貝類への影響の強さなど、浜名湖で出現するヘテロカプサの特徴を紹介します。

### ③ ガラモ場を回復する方法 （伊豆分場 高木康次）

ガラモ場とは、ホンダワラ類の海藻が群生している場所で、小魚の生育場や海の栄養吸収など、生態系の重要な役割を持っています。近年、各地で磯焼けによるガラモ場の減少が危惧され、保全活動が行われています。今回は、ガラモ場の回復研究について紹介します。

・・・・・・・・・・＜ 休 憩 ＞・・・・・・・・・・

### ④ 駿河湾深層水の恵み ～美白効果を持つプランクトン～ （深層水研究室 松浦玲子）

水深 200m より深い海中は太陽の光が届かない暗く冷たい世界です。そんな海洋深層水中にも珪藻という植物プランクトンが生きています。それら珪藻のいくつかを調べたところ、美白効果など人の役に立つ成分を持っていることが明らかになりましたのでご紹介します。

### ⑤ 白銀に輝くニジマス ～ニジマスの品種改良はここまで来た！～ （富士養鱒場 後藤裕康）

ニジマスは国内でも 100 年以上の養殖の歴史があり、全生育期間を人間が管理できるため育種しやすい魚ですが、優良品種の数は意外に少ないのです。今回は富士養鱒場が保有する魚を中心に、ニジマスの優良品種の現状について紹介します。

### ⑥ シラスはどれだけ獲れるかな？ ～シラスの漁獲量を予測する～ （資源海洋研究室 長谷川雅俊）

静岡県のシラス漁獲量は全国一です。シラスがどれだけ獲れるかは漁業者のみならず加工業者にとっても大きな関心事です。シラスの生態を考慮しながら漁獲量を予測する方法について説明します。